



おおくわ

議会だより

第133号

平成25年7月25日発行

発行 大桑村議会

議会報編集特別委員会

長野県木曾郡大桑村長野2778

電話 (0264)55-3080



6月定例会

■補正予算審議
風疹予防接種に助成40万円

2

■一般質問
4名が登壇、村政を問う

4

4千13万円を追加

一般会計総額 33億883万円に

6月定例会は、6月19日から27日までの9日間の会期で開かれ、委員長報告、組合議員報告、議長報告、行政報告、監査報告の後、請願3件・陳情1件を審議。一般質問（4名4件）が行われた。村長提出議案（報告1件、条例改正等5件、補正予算3件、請負契約1件）などが上程され慎重審議可決した。また、人権擁護委員の推薦について、原案に同意した。

防犯灯の設置

Q 今回の防犯灯設置箇所は。

A 野尻上町と長野旧保育園近辺の2ヶ所。

Q 最近も村の駐車場で悪質な事案もあった。対策で防犯灯は点検したのか。

A 駐車場付近は適度に設置されていると考える。

広域保育の現状は

Q 村外から迎えている子、村外へ行っている子供の現状は。

A 現在はいないが、7月から他所で広域入所する。

Q 委託料の負担算出方法は。

A 国の算定基準に基づく。

国土調査の進捗状況

Q 国土調査の現況は。

A 平地は完了し平成10年から山地に。

現在殿地区と砂防の関係でも入っている。現状20haで35%の進捗と考える。

Q 国調の終了の目処は。

A 全体で57haあり、まだ目処はない。



保育園プール遊び

遊休農地の活用につなげる作物の検証

Q 新たな取り組みで今年トマト栽培している地域があるが。

現在殿地区と砂防の関係でも入っている。現状20haで35%の進捗と考える。



トマト栽培（西地区）

A JAと検討しながら今年モデル事業として利用している。

Q その費用面の負担は。

A 今年は少額だったので村で出費して実施している。

Q どのくらいの期間か。

A 今回はトマト栽培で、あくまでも試験的に行っている。

北名古屋市との 交流事業について

Q 北名古屋市との交流は、子供から老人まであるが、このところ議会の交流がない。今後は。

A 数年滞っているが希望があれば考えたい。

Q では行政間の交流についてはどう考える。

A 担当者も含め打ち合わせはしている。相手方を認め合い更に交流を深めたい。

農業の担い手不足 解消へ

Q 機械化センター、繁殖センターへの行政の対応は。

A 農業の担い手不足は深刻だ。農家、行政一体となつてできる支援をしていく。

Q 就業年齢も高い。より連携を密にしてほしい。

A 地方の元気が根本。真剣に取り組んでいく。

土木工事の単価

Q 土木費委託料で単価アップと説明があったが。

A 毎年見直しはかけているが、今回は労務費のアップが大きい。

Q 今までと比べてどの位か。

A 普通作業員で19%、全ての労務平均で18・4%アップしている。

Q 上昇分が確実に労務費アップにつながるのか。

A 制度的にはクリアできる。あとは会社のモラルという部分かと思う。



子ども交流セミナー

会計別補正状況

会 計	補 正 額	総 額	主な内容（歳出）	（単位：万円）
一 般 会 計	4,013	330,883	広域負担金（消防通信）	△ 2,687
			風疹予防接種助成	40
			村有林造林事業	222
			フォレスト木曾関係経費	290
			村単道路維持事業	1,008
			国庫補助道路新設改良	265
			村単道路新設改良事業	867
			スポーツ公園フェンス設置事業	191
			財政調整基金積立	2,000
村営水道事業特別会計	351	25,199	野尻水源防護柵設置	200
			伊奈川一号線水道管布設替	155
国民健康保険事業特別会計	979	42,290	後期高齢者支援金	393
			予備費増額	565

質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。

鈴木 武 議員



職員給与の更なる見直しを
考えているか

改訂は考えていない

Q 国からの要請により、長野県や他の市町村、木曽郡でも四町村が職員給与の減額改定を実施した。村でも更なる改訂を考えているか。

A 今回、2年間で4号俸の引き下げを実施中であり、それ以上の改訂は考えていない。
このことによりラスパイレス指数109.2が試算では98になる。

消費税増税と事業計画

Q 平成26年4月1日から消費税8%が

予定されている。村の今年度の一般会計で見ると3%は約一億円の事業予算に匹敵する。一部の産業を除き低迷する地域経済活性化へ向けた取り組みとして、消費税増税前に、大型



プレミアム商品券

補正の検討をすべきではないか。また、今年度も6月末にプレミアム商品券を販売する。

A 他町村に比べ多いとは言えない発行枚数である。好評であれば増額してはどうか。
単独事業については、需給状態や意見を聞きながら対策を検討したい。

Q 平成22年度決算では、5億9700万円の財政調整基金があった。当時、7億円ほどを目標にしたいと答弁があった基金は、現在どの程度となったか。社会の情勢を把握しながら基金の繰り出しにより、事業の前倒しを検討してはどうか。

A 6月7日現在、8億5400万円となっているが、庁舎建設等大型事業が予定されているので10億円程度の積立はしたい。事業については、他の財源を活用し組みたい。

財政調整基金を活用する
時期ではないか

もう少し積立をしたい

Q 公共事業の費用対効果をどのように検証しているか。道路関係では、交通量がほとんどない新設道路も見受けられる。村営住宅に関しては、調査期間との位置づけで今年度は建設予定がない。調査の進捗状況は。

A 費用対効果をきちんと検証していないが、道路に関しては、地域の要望が大きな判断材料。住宅に関しては、109戸ある村営住宅の応募状況を見ると充足していると認識している。



Q&A 村政を問う

般

水野 進 議員

① 村長の目指すところは。
② より安心・安全な、住みやすい村づくりの課題は。

◆ 緊急時対応の仕組み
これらを踏まえて質問します。

◆ 老朽化・耐震強度不足
の家屋・空き家対策

◆ 避難誘導・避難場所確保
や水・食料の備え

◆ 南海トラフ巨大地震発生
時震度5強の予想

◆ 防災・減災を妨げる
要因の存在

◆ 人口減少、少子・高齢化
の深刻化

Q 村には、次の問題や課題があると思う。

「より安心・安全な、住みやすい村づくり」どう進める？
住民目線に立ち、災害などへの備えを重視

A ① 生活者の目線に立ち、地域活力維持のための村政を行う。

特に、東日本大震災、紀伊半島・九州の土石流等を念頭に、災害に対する住民の不安を一つ一つ確実に取り除きながら、課題を着実に解決したい。



ポンプ操法大会

② 高齢者・障がい者福祉、子育て支援などは、行政が行うべきものであるが、防災面で残念なのは、大桑村には統一した自治組織がないこと。緊急時での情報伝達、避難指示・避難勧告がうまくいくか不安であり、早期に地域のみなさんと協議し、住民の災害自主防災組織ができるようにしたい。また、今後の重視対策は次の3点である。

◆ 災害時の要援護者支援
◆ 情報連絡網の充実
◆ 災害時危険箇所の整備

Q ① 本年度防災関連事業は。

② 危険度が高い家の強制撤去、改修補助などを含む空き家の適切な管理のための条例化は。
③ 耐震診断・補強工事への補助制度の状況は。
④ 新総合計画での課題は。

A ① 気象観測システムの更新と防災エリアメールの配信。防災マニュアルの作成。

要援護者支援。



住民支えあい講座（東地区）

② 飯山市や小谷村などでは既に条例化し、行政代執行を含めて検討中のところが増加。当村では、空き家を寄贈希望した場合の対応、公費での撤去の是非を含め総合的に検討している。

③ 簡易診断275件。精密診断42件。耐震工事5件。

④ 重要課題であり、地域活力低下への対応策を組み込む。

質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。

瓜尾美佐子 議員



予防注射

風疹ワクチンと
不妊・不育治療への助成を
風疹ワクチンは助成を実施、
不妊・不育治療も検討したい

Q 安倍政権が最大の売り物にしている「アベノミクス」をどのように見ているか。村民の暮らしや地域経済にとってどんな影響を及ぼすのか。

A アベノミクスによつて雇用が改善し、賃金が上がリ、くらしが良くなることを期待するが、現状は生活必需品や公共料金の値上げで庶民の生活は

厳しい。成長戦略での大型補正も村として大きな効果はなく、村民のくらしはより厳しくなっている。

Q さらに安倍政権がこの先進めようとしている社会保障の削減、年金の削減、消費税増税の連続負担増で生活は更に厳しさを増す。生活弱者のくらし応援と地元業者への支援にもつながる取り組みとして、商品券の一部を村が買い取り、生活弱者のくらし応援に利用してもらえないか。

A 必要な政策を打って行くことは必要だが、現金給付等ばらまきは基本的に問題がある。

意見 ぐらしの実態調査で生活弱者の実態をきちんと把握しぐらし応援の施策として研究するよう求める。

Q 風疹が大流行している。特に妊婦が

かかるのと胎児に影響を及ぼす。村として、命を守る施策としてワクチンの接種費用の助成を求める。

A 安心・安全な施策の一環として今回の補正で対応した。概ね23歳から50歳対象で、未接種の方に5000円を助成。

Q 期間が定められており、1人でも多



音楽会

くの方に接種してもらえるように周知徹底してほしい。不妊・不育治療は長期にわたる場合が多く、負担も大きい。村として助成を求める。

A 検討していきたい。

意見 相談窓口の設置やホームページの活用で命を守る施策の更なる充実を求める。



Q&A 村政を問う

木戸 勘 一 議員

般

人口減少に対する むらづくりは

歯止めがかかる政策を 進める

Q 5年後、10年後の
小中学生の人数と、
総人口の推移は。

A 5年後（平成30年）
人口は3620人
程度、小中学生は23
4人程度。10年後総人
口は3280人程度、
将来人口の推計から0
歳から15歳までの子ど
もの人口は350人く
らいである。

Q 人口減少の不安を
見据えた今後の対
応は。

A 高齢化率36%を超
える状況の中、若
者の定住化を進め、子
育て支援をセットで行
う。また、婚活対応を
村でも考え、人口減少
に歯止めをかけていき
たい。

Q 国が進める道州制
に対し、村として
の判断は。

A 全国町村会・議長
会は反対である。
理由は、大都市圏へ富
が集中し、地域間格差



コカリナ演奏

が広がり、財源の保障
が示されていない。ま
た、平成の大合併の検
証もされておらず、行
政効率のみを優先して
いるため反対である。

Q 人口が減少してい
くなか、郡全体で
再合併について検討し
ているか。

A 郡内6町村は、平
成の合併から各自
治体で頑張っている。
再合併の話はされてい
ない。

Q 木曽広域連携に対
する住民アンケー
トから住民の関心度が
高いものは、行財政改
革と広域的連携での村
づくりとなっている。
このことから、再合併
への関心度が高いと言
えないか。

A 町村に足りないも
のを補うために大
きな力が必要。木曽広
域で連携して協力し合
う形で今後も頑張っ
ていく。



鹿島神社例大祭

Q 新庁舎建設の協議
会設置は。

A 第5次総合計画の
中で検討したい。

Q 村内各商店に対す
る協力体制は。

A 村では、商工業に
対して施策を推進
し、商工会への助成、
中小企業振興資金の利
子補給、プレミアム商
品券発行など応援して
きた。村への要望があ
れば真摯に受け止めて
いきたい。

こんなことが決まりました

新型インフルエンザに備えて対策本部条例制定

条例改正

- 税条例の一部改正
- 国民健康保険税条例の一部改正
- 地方税法等の一部を改正する法律及び関係政令等が3月31日に交付されたことに伴い税条例・国民健康保険税条例の関係条項の改正を専決処分したもの
- 議会委員会条例の一部改正
- 課の編成替えに伴い所管に関する関係条項を改正するもの
- 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正
- 第二次一括法が公布され財政健全化法の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するもの

契約の方法	指名競争入札
契約金額	7, 822 万 5 千円
契約の相手方	大桑村大字野尻 1300-2
	奥田工業株式会社
	代表取締役 奥田 和彦

請負契約

- 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い制定するもの
- 平成25年度村道伊奈川一号線改良工事(2工区) 請負契約

人事

● 人権擁護委員

大桑村野尻

山本 由幸氏

同氏の推薦に全会一致で同意(新任)

請願

● 義務教育費国庫負担

制度の堅持を求める

請願書

● 国の責任による35人

以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書

請願団体

長野県教職員組合木曾支部大桑単組

代表者

永井裕司



村道伊奈川一号線

紹介議員

横平幸男

結果

全会一致 採択

● 年金2・5%の削減

中止を求める請願

請願団体

全日本年金者組合長野県本部

執行委員長 松沢秀紀
木曾支部長 新床悦郎

紹介議員

瓜尾美佐子
古畑 昌夫

結果

全会一致 採択

陳情

● 地方財政の充実・強化を求める意見書採

択の陳情

陳情団体

木曾地区労働組合会議
議長 森山直保

結果

全会一致 採択

行政報告

○24年度決算状況・速報

24年度各会計の決算の状況は別表のとおりです。

一般会計の実質収支は9千万円を超えましたが、特別交付税が予算に対して2千700万円の増収となっています。

○ロイ・シャフ・シェルビービル市長逝去

シェルビービル市のロイ・シャフ市長（72歳）が病氣療養中のところ、5月31日お亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りします。



ロイ・シャフ市長

氏は2007年から市長を務めておられ、2008年には大桑村を訪れています。

本年は村から訪問する年に当たり、10月25日から11月1日までの日程を予定していますが、条件が整えば弔問と新市長との今後の交流について協議したいと考えています。

○J A木曾和牛繁殖センター完成

伊奈川地区に建設していたJ A木曾和牛繁殖センターが完成し、4月30日竣工式が行われました。

種付けから分娩、子牛の哺育までをセンターで行った後、子牛を農家に提供、これに



繁殖センター

より農家負担を軽減、高齢農家や兼業農家、新規就農者等でも子牛の育成管理ができるシステムを確立し、和牛子牛生産地の基盤維持と農家の経営維持を図ろうとするもの。

○直轄砂防事業

国の事業が決まりました。

越百第3砂防堰堤事業は5億7600万円です。継続、田垣砂防堰堤事業は24年度補正で1億3000万円、今年度完成。下在砂防堰堤工

群事業は800万円で新規事業着手、細久保砂防事業は用地買収予定。また、猿沢砂防事業、下洞沢砂防事業は調査設計が予定されています。

本年度は繁殖牛35頭、哺育子牛19頭、5年後に目標頭数の繁殖牛50頭、哺育子牛44頭にする予定です。

頭にする予定です。

平成24年度 各会計別年度末調書

平成25年5月31日現在（単位＝万円）

会計別	歳入総額	歳出総額	繰越明許費等	差引残高	基金積立金	翌年度繰越金
一般会計	353,959	344,223	637	9,099	4,550	4,549
村営水道事業特別会計	32,869	32,600		269	135	134
国民健康保険事業特別会計	45,466	41,173		4,293	2,147	2,146
農業集落排水事業特別会計	12,398	12,162		236	118	118
公共下水道事業特別会計	11,460	11,261		199	100	99
後期高齢者医療事業特別会計	5,930	5,927		3		3
計	462,082	447,346	637	14,099	7,050	7,049

平成24年度 各基金年度末残高調書

平成25年5月31日現在（単位＝万円）

基金名	年度末残高	基金名	年度末残高
財政調整基金	80,890	育英基金	1,120
地域振興基金	3,226	村営水道基金	2,689
減債基金	112	量水器償却基金	0
土地開発基金	63	国民健康保険支払準備基金	5,735
地域福祉基金	5,525	農業集落排水基金	1,377
高齢者等肉牛飼育事業基金	269	公共下水道基金	1,095
ふるさと農村活性化基金	400		
むらづくり基金	41		
庁舎建設基金	17,040		
特別支援教育基金	0	計	119,582



木曽広域連合議会報告

◎開催日 5月27日

◎場所 木曽文化公園

第2回定例議会に上
程された議案は、条例
改正3件、平成25年度
一般会計・特別会計補
正予算、工事請負契約
の締結等である。審議
の結果全て原案通り可
決承認。

●工事請負契約1件

消防無線デジタル化
に伴う高機能消防通信
指令台整備事業費1億
8900万円。

●条例改正3件

全条例とも広域連合規
約の字句変更による改
正。

●平成25年度

一般会計補正予算

1007万円減額し、
30億2793万円とす
るもの。

要旨は、高機能消防指

令台整備事業分の財源
を広域連合債へ切り替
えたこと。事業量の減
により、土木分担金を
減額したことが主たる
ものである。

●平成25年度介護保険
特別会計補正予算

補正額338万円増
額し、総額39億20万円
とするもの。要旨は、
職員の異動によるもの
と、嘱託職員1名の雇
用である。これに対す
る、大桑村の負担額は、
47万円。
(報告者 鈴木 武)



第33回大桑村議会構成(後期)

議長 下起 幸一

副議長 岩佐 孝和

【総務社会常任委員会】

◎委員長 鈴木 武
○副委員長 瓜尾美佐子
委員 木戸 勘一
横平 幸男
沼 友行
水野 進
岩佐 孝和

【経済建設常任委員会】

◎委員長 古畑 昌夫
○副委員長 水野 進
委員 横平 幸男
鈴木 武
沼 友行
大前 今朝男
岩佐 孝和

【議会運営委員会】

◎委員長 瓜尾美佐子
○副委員長 水野 進
委員 古畑 昌夫
鈴木 武
岩佐 孝和

【議会報編集特別委員会】

◎委員長 横平 幸男
○副委員長 木戸 勘一
委員 沼 友行
大前 今朝男
岩佐 孝和

◆木曽広域連合議会議員

瓜尾美佐子 鈴木 武 下起 幸一

◆松塩筑木曽老人福祉施設組合議会議員

水野 進

◆監査委員

横平 幸男

編集後記

早い梅雨入りも、当
初は雨が降らず農作物
への被害が心配されま
したが、議会の開会と
ともに恵みの雨が降り
だしほっとしているこ
ろです。

梅雨時の雨は大きな
災害を起こすこともあ
りますが、田畑を潤し

川となり木曽谷を流れ
水力による発電が行わ
れています。この豊富
な水を使い、もっと沢
山の電気を生み出せな
いかと考えるところで
す。(ミニ水力発電等)
7月21日には参議院
選挙が行われ議会だよ
りが発行される頃には
体制が決まっているこ
とと思います。

日本の将来を担う
しっかりとした政治が

できる人物が多く出て
くれることを願います。
これから本格的な夏
を迎えますが体調を崩
さないよう暑さをのり
こえてください。
(大前)

委員長 横平 幸男
副委員長 木戸 勘一
委員 沼 友行
大前 今朝男
岩佐 孝和

議員と語る会へのおさそい

大桑村議会では、9月下旬に「議員と語る会」の開催を予定しています。

当日は、皆さんからのご意見をお聞きし、意見交換します。ご近所、お友達をお誘い合わせて
お気軽にお出かけください。